

伝言板

No.9(H19.10)

- 「みなと学習見学会」in 小樽の開催
- サポート業務の体験

NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

平成 19 年度 親子でいく「みなと学習見学会」in 小樽の開催！

開催日時／平成 19 年 7 月 27 日(金)

9:00~16:00

場 所／小樽港とその周辺地区

主 催／NPO 法人

北海道みなとの文化振興機構

協 力／北海道開発局小樽開発建設部、

小樽市港湾部



はじめに

今回は、港から少し離れた処に住んでいる札幌の親子に、[みなと]の役割や重要性を広く知ってもらおうと、夏休みの期間を利用して、昔から道央の海の玄関口と言われた「小樽港」の現在の活動状況や港の建設の歴史を学習見学して頂くことを目的に開催しました。

この取り組みは平成 16 年に釧路港をはじめとし、苫小牧港、函館港について今回は 4 番目の開催となりました。参加者は、札幌市手稲区の前田中央小学校(26 日から夏休み)の 5 年生を中心に 25 名とその保護者 10 名の計 35 名となりました。

学習見学の様子

開催当日は好天に恵まれ、朝早くから前田中央小学校玄関前に集合、大野事務局長の主催者挨拶の後、NPO スタッフとともにバスに乗り込み出発しました。

午前、10 時に小樽マリーナ・クラブハウス表面玄関前到着後、記念撮影を行いヨットやモーターボートを身近に観察、つぎに小樽港フェリーターミ

ナル送迎デッキで 18,000 トン級大型フェリーの出航風景を見学、その後小樽運河までバス移動となり小樽市港湾部の佐藤様から運河の歴史について説明があり、散策コース約 800 m を徒歩で見学、そしてバスに乗りリニューアルオープンしたばかりの「小樽市総合博物館」に到着、館内担当者から港と鉄道の歴史について説明を受け、その後は自由見学となりました。児童は汽車の多さに驚いたり、手で触れたりして楽しんでいました。見学終了後、小樽港湾



フェリーターミナルにて

事務所に到着し昼食をとりました。また、事務所の千葉課長様から休憩時間を利用して、港の現況などについて説明がありました。

午後は、2班に分かれ交替で見学とし、陸上では



小樽運河の散策



小樽市総合博物館



昼食

「おたるみなと資料館」で担当者の説明を聞きながらの見学となり、海上では監督測量船「ひまわり」に乗船して埠頭や船舶の様子などを身近に観察、波のしぶきやカモメの乱舞に歓声上がることもしばしばでした。

見学後、事務所3階会議室において小樽港の最近の様子を紹介するビデオ映像を観て頂き、つづいて、アンケートに回答して頂きました。

その後、帰りのバスに乗り込み事務所前を15時出発、バスガイドさんの熱演によるクイズゲームを楽しみながら帰路につきました。

アンケート結果

参加者に回答して頂きましたアンケートの概要を



おたるみなと資料館



乗船見学

〈この見学会で気の付いたこと〉

項目	親（保護者）の声（10名）	子（児童）の声（22名）
見学内容	<ul style="list-style-type: none"> ・船に乗れてよかった。 ・港の外に出たい。 ・ビデオの内容を分かり易く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市総合博物館で様々なことが分かった。 ・もっと船に乗りたい。 ・港の外に出たい。
見学時間	<ul style="list-style-type: none"> ・見学箇所を減らし見学時間を長くして。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学箇所で自由時間が欲しい。
見学方法	<ul style="list-style-type: none"> ・高い場所から港全体を観たい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船のスピードをもっと上げて。
よかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「おたるみなと資料館」を見学し、港がどのように造られたかとても勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市総合博物館の見学や船に乗りカモメに会えて楽しかった、また、小樽に行きたい。

ご紹介します。アンケートは、港及びその周辺を見学学習し、“肌で感じたイメージ”や“見学会に対する感想”を率直に答えて頂くことを目的に実施したものです。

①“港に行ったことがあるか”の間では、〔よく行く・たまに行く〕で親30%、子28%。〔ほとんど行かない・行ったことがない〕は親70%、子72%であった。

参加者は札幌在住ということから、このような傾向になったものと思われる。

②港に行ったことがある人について、“その行き先”を尋ねたところ、親は小樽マイカル、買い物、遊びに、となっていて、子は小樽マイカル、買い物、海を見る、魚釣り、ジョギングなどと多岐に亘っている。

③“見学会に参加した感想”について尋ねたところ、〔おもしろかった〕と回答したのは、親100%、子92%となっている。

④この見学会で“気に入った・興味があつた”ことについて尋ねたところ、〔船による海上見学〕や〔小樽市総合博物館〕が人気が高く、二つ合わせて親は63%、子は74%であった。次いでマリナーやフェリーターミナルとなっている。

⑤“今後、港に行ってみたいと思いましたが”について尋ねたところ、親は90%、子は64%であった。

⑥小樽港について“もっと知りたいこと”について尋ねたところ、

〔港のイベント・まつり〕では親54%、子は38%で、

〔未来の港〕では親31%、子は46%となり、子は、“未来の港”に関心の高いことが分かりました。

⑦“その他、この見学会で気の付いたこと”について上記のような意見が寄せられましたので、今後の参考としたい。

おわりに

最後になりましたが、この学習見学会の企画段階から実施に至るまで、小樽開発建設部、小樽市港湾部をはじめマリンウェーブ小樽、新日本海フェリー、小樽市総合博物館の方々など多くの関係者に種々ご協力頂きました。また、参加者募集案内にあたり前田中央小学校のご協力を頂きました。ここに、あらためて厚くお礼申し上げます。

感想作文

保護者並びに児童の皆さんに感想作文をお願いしていましたが、たくさんのご寄稿頂き誠にありがとうございました。

感想作文を会員の皆様にご紹介するにあたり、文意を損なわない程度に漢字読みにすることや言葉づかい等を一部修正させて頂きました。

（4ページ～10ページに掲載）

親子でいく

みなと学習見学会の感想・おたより



どもん けいこ
土門 圭子(保護者)

私にとって、小樽という街は、父の出身地なのでとても身近な存在です。子供時代には怖くて寂しいと感じた古い倉庫の連なりや、灰色のような小樽運河も、観光地化されて間もない頃の運河の散策路や小樽港であり、懐かしい場所だと思っていました。息子が学校から貰ってきたお便りを私に見せ「これ行ってみたい」といったとき、そう言えばいつでも身近なはずの隣町小樽に子供達と一緒にいったことが無いのに気づきました。内容をよく読むと、どうやら船に乗れるみたい……これはめったに無い良い機会だと思い、親の私の方がワクワクして早速申し込みました。

十数年ぶりに訪れた港町は、思いの外新鮮さを覚えました。歴史を感じる建物の外観はそのままに、中身は新しい店舗が入り、運河の散策路で客待ちをしている人力車も格好よく、バスの中から眺めた潮祭りのメイン会場も活気にあふれ、私が身近に思っていた小樽とは少し違っていました。格段に素敵な

ところではありませんか。

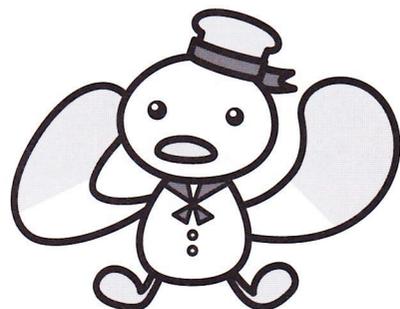
さて、いよいよ私たちにとってのメインイベント、測量船に乗るときがやってきました。ライフジャケットを身につけて、いざ乗船です。息子にとっては初めての乗船です。私も中学校の修学旅行で乗った青函連絡船以来かなりの年月をえています。もう嬉しくて心臓がドキドキです。さあ出発しました。こんどは揺れにドキドキしながら景色を眺めると、



監督測量船「ひまわり」の乗船風景



おたるみなと資料館

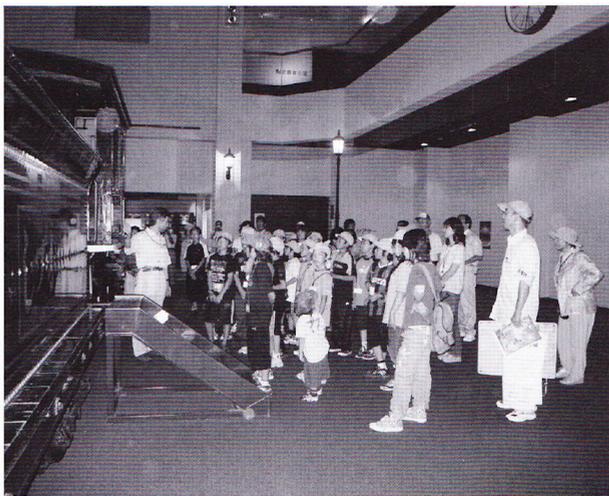


快晴にも恵まれたおかげでしょうか、振やかな港に山の斜面に点在する家々、遠くに見える緑あふれる山等、すべてがとてもきれいで感動せずにはいられませんでした。

車をたくさん積んでいる船を見て「すごい!」、測量船がスピードアップした時にも「すごい!」、親子ですごい!すごい!の連続でした。楽しい時はあっという間に過ぎてしまいましたが、大変貴重な体験ができた事とても感謝しています。測量船に乗る前に見学した(おたるみなと)資料館では、また別の意味で新鮮な気持ちになりました。世界の貿易港としての役割を果たすために、コンクリートの調査から並々ならぬ努力と研究、苦労があったことや、その結果、百年前に造られた北防波堤は、現代においてもその荒波に耐え続け立派に役目を果たしていることなど、大変勉強になりました。歴史や仕組みを知ることによって、より、小樽港に親しみを持てるような気がします。

息子は、もう一度小樽総合博物館で汽車を見たいと言っています。見学会の日は留守番をさせられて、おみやげに頂いたぼーとんとべいくりんのマスコット人形できげんを直してくれた弟と妹も一緒に、近いうちにまた、港町小樽を訪れようと思っています。

開催して下さった北海道みなとの文化振興機構の皆様、どうもありがとうございました。



小樽市総合博物館



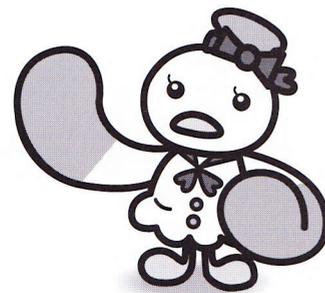
大型フェリー出航



いしだ てっぺい
石田 哲平(児童)

7月27日(金)に、みなと学習見学会でいろいろなことを知りました。その中でも、特に船での輸入や輸出に、一番興味を持ちました。特に驚いたのは、輸入されるとうもろこしの数量です。年間百六十万トンも輸入されるなんて、驚きました。そしてそのうもろこしが配合飼料となって家畜のえさになって、牛乳や食肉として食卓へあがるまで、長い過程を過ぎてくるんだなと思いました。他にも、船に乗ったり、資料館を見たりしましたが、交通記念館(小樽市総合博物館)が楽しかったです。不思議な鏡を見たり、いろんな道具で楽しむ事が出来ました。船の上で見たカモメや、(船が時速)40 kmで走ったりして、楽しかったです。

このような機会があれば、次も参加したいです。こんな楽しい見学会を開いてくれてありがとうございました。





小樽運河の散策



小樽マリーナクラブハウス前にて

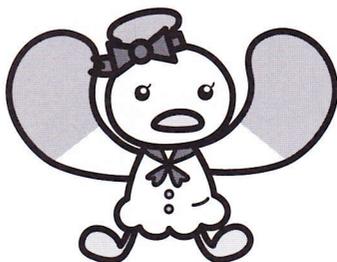


やまもと ゆうき
山本 雄輝(児童)

ぼくはみなと学習見学会にいってきました。最初に小樽マリーナクラブハウス前に着きました。海の近くを歩いていると魚とクラゲがいました。次にフェリーターミナルに行きました。フェリーの「ぼー」という音が思っていたより大きくてびっくりしました。次に、小樽運河に行きました。あるところで、すごくきれいな場所がありました。写真を撮りたかったです。次に総合博物館には科学コーナーがありました。そこには、いろいろなおもしろい物がありました。次に小樽港湾事務所に行って、そこでお昼ご飯を食べました。

おいしかったです。次に海上からの見学をしました。楽しかったです。

また、小樽に行きたいです。



やまもと なおや
山本 直弥(児童)

僕は親子で行くみなと学習見学会に行きました。前田中央小の前に（バスが）来てくれていました。バスに乗ってから、しばらくして、バスは出発しました。窓を見たり、あそんだりしていたら、バスは小樽マリーナクラブ前に到着しました。海の近くをトコトコ歩いてうみを見ているとクラゲがいっぱいいました。ときどき小魚もいました。一匹だけ大きい魚を見たときは、すごくうれしかったです。「つかまえないなあー」「家でかいたいなあー」と思っているいと、ゲートのようなところにつきました。くぐっていくとたくさんのおふねがありました。人が集まっている場所へ行くとそこには小さなカニ



カモメとともに



マリーナ散策

がいました。カニを見ているとき、もうバスにもどるといわれたので、ちょっとかなしかったです。

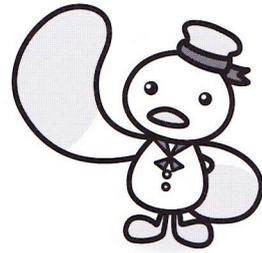
バスにもどって次のところへ出発しました。そして、到着したのは、小樽港フェリーターミナル前でした。中に入ってエスカレーターをかけあがるとフェリーが見えました。

フェリーは「ぼー」と大きな音を出すと方向をかえて前に行ってしまいました。

それから、バスに乗って小樽運河の近くまで行き、降りて運河までトコトコ歩いて行くことになりました。運河はとてもきれいで写真を撮りたかったです。そして、バスにもどって、小樽総合博物館に行きました。博物館の中に科学コーナーがありました。科学コーナーにはいろいろなものがありました。最初にやったのは、発電でした。ほかの人は15ボルト行かなかったけれど、自分は、15ボルトできたのでう



小樽運河での説明風景



れしかったです。ほかにもとうめいマントなどがあって、とってもおもしろかったです。次は昼食です。小樽港湾事務所で食べました。ハンバーグ、えだまめ、ポテト、おせきはんなどいろいろありました。フルーツもいっぱいあってのこしてしまいました。それから、船に乗るのはひさしぶりだったのでうれしかったです。船は帰りに、かなり速いスピードをだしました。楽しかったです。

そのあと、ビデオを見たり、アンケートを書いたりしました。帰りにおみやげがあったのでうれしかったです。行ってよかったと思う見学会でした。



あらた かなん
荒田 果南(児童)

私がこのみなと学習会で一番心に残ったのは、船に乗って海を見たことです。

それで、最初に船に乗ったときは、船がゆれていてとてもこわかったけれど、出発したら、最初に乗ったときのゆれがなくなってちょっと安心しました。はじめは船のスピードはおそかったけれど、どんど



バス内での楽しい会話



小樽運河での説明風景



おたるみなと資料館

ん速くなって、だんだん楽しくなってきました。

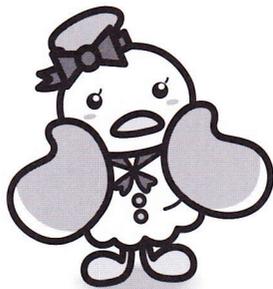
(乗ったところに)帰るときに、ふねのスピードが、いきよに速くなったので、ちょっとビックリしました。途中で、カモメがすごくたくさん船の周りに来ました。そのカモメにえさをあげたら食べてくれたのでとてもうれしかったです。

もどったら、赤グループ(注:見学・乗船のために二班に分けました)の人と合流出来たのでうれしかったです。今回一番楽しかったのはカモメにえさをあげたことです。



やまもと ともこ
山本 智子(児童)

見学会が27日にあるので、来て下さいいとい、電話がなかったのですが、すこし遅れて、電話がきたので、集合場所にいきました。9時15分に出発しましたが、バスではなく、普通の車なので(出発時間を過ぎていたので乗用車で送る)ちょっと心配にな



りましたが、ちゃんとクラブハウス(小樽マリーナ)の前で皆といっしょなれたのでよかったです。

運河(小樽運河)を歩いているときに、魚が泳いでいたのでびっくりしました。次に博物館(総合博物館)に行き、汽車とかを見てきて、いろんなところに、しかけとかあったので、びっくりしました。二階で、科学館みたいな、場所があって、遊んだら、とても楽しかったので、また、行きたいです。

12時10分にお昼ご飯を食べてみたら、とてもおいしかったです。

午後から、船(監督測量船)に乗ることになりました。船に乗るのは二回目だけど、すこし小さい船でしたが、あまりこわいとは思いませんでしたが、どんどん、スピードがあがっていくと、だんだんこわくなってきたので、ちょっときんちょうしました。また、船にのってみたいです。



小樽運河での楽しい散歩



小樽港湾事務所前にて

つぎに、(小樽港湾事務所の)ビデオを見て、アンケートを書いて、バスに乗ってプレゼントをもらいましたが、最初は1つかな〜とおもったけど、いっぱいもらえたのでうれしかったです。またいきたいな〜と思います。



せき 関 はやと 隼都(児童)

今日の「みなと学習見学会」で海の楽しみ方がわかりました。

総合博物館で、電車を見て、電車の種類がわかりました。バスで移動の時、バスガイドさんの問題が楽しかったし、フェリーターミナルからももらったシャープペンとストラップもうれしかったです。

帰りに、(帰りのバスの中) ペットボトル入れと、ぼーとんくんとべいくりの人形と、鉛筆と、ノートもうれしかったです。

船(監督測量船)のモーターボートがすごいスピードでおもしろかったです。船は、海上保安署の巡視船しか乗ったことがなかったのでとても楽しかったです。

また船に乗りたいし、小樽にもお母さんといっしょに行きたいです。船からの、鳥(カモメ)にえさをあげたのも楽しかったです。



よしだ けんた 吉田 健太(児童)

船に乗った(監督測量船)時に大きな船(ロシアの船?)があつて、車が積んでありました。もどつてくるとき船が高速で走つたので、すごく速くてびっくりしました。

博物館(総合博物館)でいろいろなものを見ていて、汽車の中に入ったら、僕はあまり汽車に乗つたことがないのでおもしろかったです。

お昼のご飯は、とてもおいしかったです。

最後に(帰りのバスの中)グッズをもらったときに、いっぱいくれたからうれしかったです。

僕の住んでいる町には、海がないから勉強になつたし、楽しかったです。

皆さん、これからもお仕事がんばってください。



せき 関 はるか 春花(保護者で参加)16歳

小樽港マリーナ、フェリーターミナル、小樽運河、小樽市総合博物館、みなと資料館の五つの場所を見学し、今までかかわることのなかった港のことを学びました。

ヨットやボートが陸から海へ、海から陸への移動の際にクレーンを使うこと、大きな新潟行きのフェリーが2万トンもあったこと。運河は、半分になってしまったものの、きちんと残っていること。博物館では、昔の電車に乗ってみたりして歴史にふれ、科学室では不思議な鏡におどろき、(おたるみなと)資料館ではみなとの出来るまでの過程を知ることができました。

すべて楽しかったのですが、私が一番すごいなと





アンケート調査風景

思ったのは、外国との輸出入の99.9%は船で行われているということと、トラックの5分の1の排出ガスでいいということです。5分の1のエネルギーでいいなら環境にも良いことだと思います。

でも、そんな環境に優しい船ですが、港がなければ何もできないことも分かり港の重要性を再認識しました。

資料館で見た防波堤の模型では、ケーソンというコンクリートのかたまりを斜面からすべり落とし、その上にブロックをななめに積むことで、工事の安定性を高め、波力に対する抵抗が増していくとわかりました。難しいことも多かったですが、とても楽しかったし、勉強になりました。そして、小樽の街の深い歴史に触れることができ良かったです。

今回、この見学会をしてくれたNPOの方々、そして分かりやすく説明してくれた港湾事務所の方々、安全に私達を目的地まで連れて行ってくれたバスの運転手さん、楽しい話をしてくれたガイドさん、本当にありがとうございました。



もりた けいこ
森田 桂子(保護者)

先日は「みなと学習見学会」に参加させて頂きありがとうございました。小樽の海側からの見学は今回が初めてで、主役の子供達以上に興奮し、楽しむことが出来ました。初めて見聞きすることも多く、

丁寧な説明のお陰で十分に理解することが出来ました。

マリナーでは、クレーンにぶら下がったベルトに気がつき、後程それは船を持ち上げる為のものと教えて頂きました。私にはそのベルトが布製に見えましたが、違いますか？。素材について質問するのを忘れました。重い船を持ち上げるとなると、普通はチェーンかワイヤーを連想しますが、もし布製なら切れないか心配です。

又、「ヨットやクルーザーに乗りたければ外科のお医者さんと友達になるといいですよ」と冗談をいわれた時、「とりあえず怪我をしなくては……」と、一瞬本気になりました。

帰りのバスで、ガイドさんの「今日は何が一番良かったですか」の質問に子供達は皆何のためらいもなく「船」と答えていました。確かに、陸上での個別の見学と違い、海上から眺めると小樽の街や山が一望出来、小樽港全体を見渡すことが出来ました。フェリーターミナルの大きさ、マリナーの船の数の多さ、又、ロシアの船が中古車を山積みしている様子などを見ることが出来、本当に珍しい経験をさせて頂きました。

又、フェリーの出航時にスタッフがいつまでも手を振り続けておられたのが印象的で、船旅もいいものだと思えました。まずは小樽近海クルージングに予約しようかと主人と話し合っています。

家に帰り、頂いたパンフレットに目を通していると、ケーソンの進水式の一般公開、マリンフェスタ in 小樽では今回のように港内を船で見学出来ると書かれていました。聞いたことがないなあ……と思ったら、どうも小樽市民に限られているようです。小樽港湾事務所のような素晴らしい工事を多くの人に知ってもらう為に、又、子供達の最高の学習の場であることも考え、もっと広範囲にPRして頂きたいと願っております。

今回は大変お世話になり大変ありがとうございました。

〈初めての試み〉

NPO 事務局&札樽支部はポートウォッチングを支援！ サポート業務を体験しました

取り組みの目的

7月に小樽開発建設部並びに小樽港湾事務所が開催しました、「ポートウォッチングなど」の行事に対して、NPOはサポーターとして参加・協力させていただきました。

NPOがサポーターとして参加・協力した主な理由は、

- ①NPO会員のうちから経験豊富な港湾OBが、案内サポーターとしてその役割を果たすことにより、NPOの事業の目的に適うとともに開発局側担当者の業務の負担軽減に役立つのではないかと思われること。
- ②今後に向け、NPO会員の中に、「港の見学学習のため案内サポーター」としてその役割を引き受けて頂ける可能性を探ること。

であり、平成19年度事業の一つとして、新規に採り上げられ実行に移されたものです。

I 「石狩湾新港みなと見学会」の概要

この見学会の目的は、「市民の海と港の理解及び啓蒙を図ることとしており、近年、港湾貨物取り扱い量が増加している石狩湾新港について、港の役割を主とした説明により、石狩湾新港へのなお一層の理解を得るもの」とされ、特に、石狩市内の小学生を対象に「学習の場」として提供を行うことでその目的の達成を図る、となっています。

主催者 小樽港湾事務所

開催日時 平成19年7月4日、5日、6日 9時から12時まで

開催場所 石狩湾新港東埠頭小型船だまり及び港内

参加者 石狩市内の小学生2～4年生、303名、引率者24名、計324名

集合手段 各学校は、石狩市のスクールバスにより

東埠頭小型船だまりに集合

見学内容 7月4日4航海、7月5日3航海、7月6日4航海（乗船時間約25分）

NPO側サポーター 1日3名 延べ9名参加

主なサポート内容 児童の出迎え、記念撮影、救命胴衣着脱の補助、乗船見学時の安全監視、乗・下船時の補助、写真撮影、グッズや資料の配付補助、見送り



II 「ポートウォッチング in 小樽」の概要

この催しの目的は、「海の日」の意義を広め、海事思想の普及を図ることを推進する「海の月間」（7月1日～7月31日）の関連事業の一環として、7月15日（日）に小樽築港臨海公園（第一会場）を中心に開催される「マリIFESTA in 小樽」に主催者の立場で参加することにより、当部の港湾・漁港事業に対する市民の理解と啓蒙を図るため実施する、とされています。

主催者 小樽開発建設部（企画運営：築港課及

び小樽港湾事務所)

開催日時 平成 19 年 7 月 15 日 (日)

「ポートウォッチング」

開催場所 小樽築港臨海公園 (第一会場) を中心に実施

参加者 一般市民 先着 80 名程度 (20 名×午前午後各々 2 航海)

見学内容 監督測量船「ひまわり」に乗船し、30 分程度港内見学

NPO 側サポーター 3 名参加

主なサポート内容 参加者の誘導、記念撮影、救命胴衣着脱の補助、乗・下船時の補助、写真撮影、グッズや資料の配付補助

「みなと&みちのパネル展」

開催場所 マリンロード (ばるて築港区内～架橋連絡通路)

展示内容 港に関するパネル (小樽港の歴史、港湾事業紹介など)

道路に関するパネル (札幌国道の歴史、道路事業紹介など)

アンケートコーナーと子供への風船のプレゼント

NPO 側サポーター 1 名参加



主なサポート内容 展示パネルの維持管理、会場保安管理、会場内の道案内、アンケートコーナーへの案内誘導、風船のプレゼント補助

III まとめ

当初から取り組みの目的とされていた以下の項目に関し、サポート体験を試行的に実施、その結果を確認しましたので概要をご紹介します。

①港の案内人ボランティアの必要性

サポート業務に対する開発局側の反応は好意的であるとの感触を得ましたので、港の案内人ボランティアの必要性は高いと判断してよいと思われます。

②当会員の中から案内人ボランティアを引き受けて頂ける可能性

サポーターから意欲的な提案も見受けられ、案内人ボランティアを引き受けて頂ける可能性は高いものと推定されます。

あしがき

サポート業務の実現に向けて、開発局側の意向を確認するとともに、NPO 側としてサポーターが協力し易い環境 (例えば、資格認定して登録した者など) をつくりだしていくことも必要と感じました。

〈お知らせ〉

*この度、札幌地区における「みなと学習見学会」や「ポートウォッチング」などの開催準備並びに案内サポーターの業務に対応するため、新しく「札幌支部」を開設しました。支部は釧路、苫小牧、函館に次いで4番目となります。今後ともよろしく申し上げます。(支部担当者の氏名はホームページに掲載しています)

*当 NPO 法人は、去る 6 月 1 日からホームページを開設しております。
アドレス <http://minatobunka-npo.info/>